



この線形代数学の講義は主に行列を扱う科目ですが，高校の数学科目から行列がなくなっため，学生の線形代数学の負担が増えてしまいました．しかも，大学で教える範囲は減っていないので大変です．頑張ってください．

さて，行列とは数字を長方形に並べたもので，行列には‘足し算’，‘スカラー倍’と‘かけ算’が定義されています．この中でかけ算だけ定義が面倒なものになっていますが，なぜこのように定義をするのかということについては後ほど説明する予定です．本日の講義の内容のうち，たとえ正方行列であっても行列のかけ算は可換ではないこと，つまり一般には $AB \neq BA$ であることは覚えておいてください．

この場所では講義の要約や補足，あるいは関連する話題を取り留めもなく書いていくつもりです．必ずしも役に立つ情報があるとは限りませんが，一読いただけますと幸いです．